

富士川町 議会だより

第39号

令和2年(2020年)1月25日発行



小正月の どんと焼き

鵜沢地区のどんと焼き(戸川河川敷にて)

すゑぷくろ

毛製のニット製品を
洗濯して縮めてしまった…



☆縮んでしまった(毛)ニット、
セーターなどを回復させる♪

1. めるま湯にトリートメントを混ぜて、ニットを入れてモミモミする。
2. 約10分間放置してから、すぎ脱水する。

*注意 使用できるトリートメントに、「ジメチコンなど」のシリコンオイル系成分が入っていないと効果はありません。



12月定例会で決まったこと 2

おもな質疑 3

9人が町の課題を問う 6

富士川町議会

検索

山梨県富士川町議会



12月定例会 で決まったこと

台風19号爪痕残す

災害復旧費に2220万円

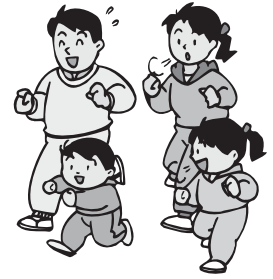
補正予算額 **6451万円**
補正後の予算総額 **89億6529万円**

12月定例会

令和元年第4回定例会を12月6日から13日まで8日間の会期で開催し組合等の規約改正案2件、条例改正案6件、補正予算案7件、計画変更案1件、組合等の設置案2件、道路認定案1件を可決、認定した。

おもな一般会計補正

・ふるさと納税報償等関連経費	1154万円
・障がい者自立支援給付費等返還金	908万円
・土地改良施設耐震対策事業費	314万円
・子育て施設等利用給付費	206万円
・富士川いきいきスポーツ公園用地購入費	453万円
・富士川いきいきスポーツ公園管理棟備品購入費	683万円
・農地等応急災害復旧費	130万円
・林業施設災害復旧費	1560万円
・農地農業用施設災害復旧費	530万円
・その他	513万円



富士川いきいきスポーツ公園管理棟



台風19号で崩落した林道富士見山線

請願審査結果

議会へ2つの請願が提出され12月10日に総務産業建設常任委員会において慎重審議し採決の結果、新庁舎建設の見直しに関する請願を不採択、リニアの騒音の低減に関する請願を採択し本議会へ提出した。本議会での委員長報告のあと、全議員による起立採決の結果、委員長の報告の通り決定した。

- 総額約30億円の新庁舎建設の見直し請願 不採択
- リニア中央新幹線の騒音の低減に関する請願 採択
- 沿線住民の生活と健康などを守るために騒音基準55db以下を尊重するよう山梨県とJR東海へ意見書を提出する。

おもな質疑

組合等の規約改正

◆ 峡南地区ことばの教室共同設置協議会規約

問 ことばの教室に本年度通級している子どもたちは何人か。また、対象児童数の増減は。

答 134人通級している。児童数は増加傾向にある。

条例改正

◆ 町立保育所条例

問 第3保育所閉所後の利活用は。

答 各課から提案してもらい、取りまとめ、今後精査検討する。

◆ 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例

問 有事の際の町外に居住する消防団員への連絡方法は。

答 火災の際は、各分団長に峡南消防本部からメールが届き、内容は分団長から団員に伝達される。

問 町外に居住する消防団員の出勤に、交通費を支給する考えは。

答 出勤手当の中に含まれているので、通勤手当は考えていない。

◆ 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備

問 来年度導入される、会計年度任用職員の待遇は。

答 フルタイム会計年度任用職員とパートタイム会計年度任用職員にわかれ、年収は現在と変わらない。

補正予算

◆ 一般会計

問 土地開発基金土地購入費の64万5千円の場所は。

答 旧鰻沢病院跡地の一部を道路用地として取得するための費用であり、不足額の増額である。

問 土地開発基金土地購入費の416万2千円の場所は。

答 町道大柵大久保線の道路改良工事に伴い、ますほ文化ホール入口の西側を一部道路用地として取得する。

問 財産収入の土地売却2080万円の場所は。

答 大法師町有地である。

問 いきいきスポーツ公園管理棟備品683万円の購入内訳は。

答 リターン式コインロッカー16台、折りたたみ式机16台、軽量パイプいす60脚、全部で26品の購入代金である。

問 ふるさと納税サイトの使用手数料は。

答 寄付金額に対し、ふるさとチョイス1%、さとふる12%、ふるさとプレミアム10%、ふるさと本舗12%である。

◆ 簡易水道事業特別会計

問 簡易水道事業費180万円増額の要因は。

答 中部簡水配水管敷設替工事によるもので、国交省の鬼島地内の国道52号線舗装修繕工事に伴うものである。

問 諸収入69万円配水管切り回し補償金はどこが補償するか。

答 平林農道の拡幅工事に伴う県補償金である。

おもな質疑のつづき

◆下水道事業特別会計

問 委託料の下水道管きよ実施設計とは。
答 富士橋架け替えに伴う下水道管の敷設替えて、現在の富士橋の上流である。

◆かじかの湯事業特別会計

問 かじかの湯の原材料費170万円とは。
答 物品や、土産の仕入れ130万円、厨房の食材仕入れ40万円である。

組合等の設置

◆峡南地域教育支援センターの共同設置

問 やまなみ教室は現在何人通級しているか。
答 全体で5人である。
問 共同設置のやまなみ教室の担当職員の選任方法は。
答 規約などの承認を受けた後、4町で協議し幹事団体の市川三郷町で選任する。

条例改正6件が提案され可決されました。

●富士川町特別会計設置条例の一部を改正する条例

峡南地区ことばの教室共同設置協議会の名称が変更されることに伴い、特別会計の名称について一部を改正。

●富士川町立保育所条例の一部を改正する条例

町立保育所の再編に伴い、第3保育所の閉所、第4保育所の名称変更について、一部を改正。

●富士川町消防団員の定員、任免、給与、勤務等に関する条例の一部を改正する条例

人口減少や就業構造の変化、若年層の都市部への流出など、消防団を取り巻く環境の変化に伴い、消防団員の確保が困難となっていることから、所要の一部を改正。

●富士川町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準を定める条例の一部を改正する条例

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令の施行に伴い、所要の一部を改正。

●富士川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正

子ども・子育て支援法の一部を改正する法律の施行に伴い、一部を改正。

●地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、一部を改正。

第5回臨時会 条例改正2件が提案され可決されました。(関連記事) P15

●富士川町職員給与条例の一部を改正する条例

人事院及び山梨県人事委員会勧告に鑑み、所要の改正を行う必要がある。

●富士川町長等の給与及び旅費条例及び

富士川町議会の議員の議員報酬及び費用弁済等に関する条例の一部改正

一般職の職員の勤勉手当の率の改正に鑑み、町長、副町長、教育長及び町議会議員の期末手当について同様の措置を講ずる必要がある。

公表します 議員の賛否

令和元年12月定例会【審議した案件とその結果】

議員の賛否

案 件 名	秋山 仁	樋口 正訓	笹本 壽彦	井上 和男	望月 眞	秋山 稔	成田 守	小林 有紀子	深澤 公雄	青柳 光仁	堀内 春美	鮫田 洋平	長澤 健	結 果
三郡衛生組合同規約の一部改正について														
峡南地区ことばの教室共同設置協議会規約の一部改正について														
富士川町特別会計設置条例の一部改正について														
富士川町立保育所条例の一部改正について														
富士川町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について														
富士川町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準を定める条例の一部改正について														
富士川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について														
地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和元年度富士川町一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
令和元年度富士川町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)														
令和元年度富士川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)														
令和元年度富士川町介護保険特別会計補正予算(第3号)														
令和元年度富士川町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)														
令和元年度富士川町下水道事業特別会計補正予算(第1号)														
令和元年度富士川町かじかの湯事業特別会計補正予算(第1号)														
富士川町過疎地域自立促進計画の変更について														
山梨西部広域環境組合の設置について														
峡南地域教育支援センターの共同設置について														
富士川町道路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
総額約30億円の新庁舎建設の見直し請願書について	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	不採択
リニア中央新幹線の騒音の低減に関する請願について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採 択

町のホームページで一般質問の録画を視聴することができます



ホームページ
↓
広報関係
↓
町政情報(町議会)
↓
一般質問(録画)

P12

◆パブリックコメントとは。

◇「意見公募手続」また「意見提出制度」とも言う。

公的な機関が規則あるいは命令などの類のものを制定しようとするときに、広く公に(パブリック)、意見・情報・改善案など(コメント)を求める手続きをいう。公的な機関が規則などを定める前に、その影響が及ぶ対象者などの意見を事前に聴取し、その結果を反映させることによって、よりよい行政を目指すものである。



望月 眞 議員

問 避難警報発令及び 避難所運営の検証は

答 役場全体で検証を実施 今後の対応に生かしたい

問 台風19号発生時における避難警報発令の判断については。

町長 大型で非常に強い台風であったため午前9時半に、町内全域に「避難準備・高齢者等避難開始」の避難警戒レベル3を発令した。午後0時10分に土砂災害警報が発令されたことから、平林・穂積・五開地区に、午後2時20分ごろに南川の氾濫と浸水の危険が高まったことにより、鵜沢南区の一部に警戒レベル4の避難勧告を発令した。収集した気象情報や河川の水位等を参考に判断した。

問 最終判断はどのようなされたのか。

町長 私も含め、幹部職員で警報発令体制を取っていたので、情報収集等しながら先を見越して早め早めの発令を町長名で行った。

問 大雨洪水警報警戒発令の検証については。

町長 今回は、通常より早め早めに情報を出した。結果として、空振りに終わったが、人的被害もなく、早め早めの

対応で良かったと考えている。避難所の数や場所の設定等、対策方法についても検証している。

問 避難所運営の検証については。

町長 役場全体で検証をし、災害警戒本部で課長以上の職員の見学会で、避難所運営の課題や反省点を検証し、今後の対応を協議した。非常持ち出し袋持参避難が基本だが、持参しなかった人もいるので広報活動の必要性を感じている。授乳スペースの確保やベットの対応、テレビの設置等いろいろな意見も出ている。検証結果は今後の対応に生かしていきたい。

問 「富士川町災害時避難行動要支援者登録制度」を設けているが、要支援者または支援者からの問い合わせや活動事例報告があったのか。

福祉保健課長 要支援者からは避難方法について2件の問い合わせがあった。支援者からは、自宅を訪問し安否確認をしたとの活動報告があった。民生児童委員からは、安否確

認の訪問や電話連絡を行い、中には要支援者と共に避難したとの報告があった。

問 今回の状況を検証し、避難警報発令を想定しての町全体、または地域指定の避難訓練が出来ないか。

防災交通課長 台風19号では、早めの避難行動が命を守る行動に繋がることを再認識した。今後、土砂災害や浸水害など各地区の課題に沿った防災訓練の実施を呼びかけると共に、町主体の土砂災害や浸水害を想定しての防災訓練を計画していきたい。

台風19号発生時の一時避難の状況

一時避難場所	時間 12:45	15:00	17:00	18:40	20:30
ふれあい広域体育館	4世帯 7名	7世帯 15名	7世帯 15名	7世帯 15名	7世帯 15名
町民会館	3世帯 5名	21世帯 39名	40世帯 70名	40世帯 70名	52世帯 108名
平林公民館	1世帯 2名	18世帯 29名	24世帯 43名	29世帯 45名	29世帯 45名
ゆずの里ふれあいセンター					
十谷生活改善センター			1世帯 2名	1世帯 2名	1世帯 2名
かじかの湯			3世帯 5名	3世帯 5名	3世帯 5名
高齢者ふれあいセンター			1世帯 2名	1世帯 2名	6世帯 15名
砂袋公民館	1世帯 5名	1世帯 5名	1世帯 2名	1世帯 2名	1世帯 2名
菴米公民館	1世帯 1名	4世帯 4名	4世帯 4名	4世帯 4名	4世帯 4名
合計	10世帯 20名	51世帯 92名	81世帯 143名	86世帯 145名	103世帯 196名

防災交通課がまとめた避難所情報より抜粋



樋口正訓 議員

問 特色ある 歴史資料館の整備を

答 実現に向けて 早急に検討する

問 世界遺産・沖縄首里城を焼失したが、「山車巡行祭り」の山車4基（有形文化財）の防火・防災対策は。

生涯学習課長 保存会ごとに保管している4か所の倉庫は防火設備等が万全でない。今後、町の補助金制度を活用し、防火・防災対策に万全を期すよう指導していく。

問 山車組み立ての後継者育成は。

生涯学習課長 伝統継承のために若手の育成について検討を進めている。今後も後世に技術を伝えていきたい。

問 富士川舟運の歴史遺産の活用と資料の収集状況は。

教育長 現在36件の情報提供がある。すでに400点を所蔵しているが、内容について、現在確認作業を進めている。活用方法については、展示施設などでの公開に向けて検討している。

問 県立博物館において「富士川舟運展」を企画している。町の対応は。

教育長 今後、舟運に関する資料の展示、情報の収集ほか、

県立博物館との連携は可能と考えている。

問 地域のコミュニティを活かした特色ある歴史資料を展示する振興策は。

教育長 現在町では、富士川舟運資料の収集と併せ、収集した資料や現存する文化財の活用方法を検討している。具体的には文化交流拠点や学習機会のできる、特色ある展示施設の整備などが考えられる。今後も収集をさらに推進し、町の活性化や地域の振興につなげたい。

問 小原屋商店（国の登録有形文化財）での「舟運の歴史を学ぶ会」を、さくら祭りに併せて開催できないか。

教育長 町の歴史文化を後世に引き継ぐことは重要である。学校の社会科授業でも富士川舟運の歴史について積極的に学習している。今後、所有者等の協力をいただきながら、学習会などの開催について検討していきたい。

問 「塩の華」は建物の造りや周囲の景観からして資料館としての活用は可能か。

教育長 現在、株式会社富士川の指定管理で運営されているが、国の補助を受けて建設されているため、建物の用途変

更などの手続きが必要となる。今後、資料展示を行う場所の一つとして早急に検討を進めたい。



資料展示を行う場所の候補の一つとして検討される「塩の華」

問 国民健康保険税の引き下げは

答 収入と支出のバランスが図れるよう検討する



秋山 仁 議員



役場窓口での相談風景

問 高齢者の終活支援事業の取り組みを行う考えは。福祉保健課長 終活とは「自らの人生の終わりに向けた活動」で、いざという時の生前整理などを行うこと。核家族化、単身世帯の増加や近隣住民や親戚付き合いの希薄化など社

会問題になっている。町では社会福祉協議会と話し合いの場を持ち、他市町村の状況把握をしてきた。その結果、他都県に実施している自治体があるが本県には終活支援事業を実施している市町村は把握できないが町では住民の方に

安心して生活してもらったため、相談時に関係機関と連携し支援を行っていききたい。

問 終活セミナーや相談事業を行う考えは。

福祉保健課長 相談があった場合は個別相談として対応し、必要に応じて関係事業所へつなぐ。

国民健康保険税について

問 現行の国民健康保険税の引き下げは可能か。

町民生活課長 国民健康保険は社会保険などに加入していない全ての人が加入し国民皆保険制度の基盤的役割を果たしている。医療費や国保事業費納付金など国保特別会計からの支出費用の財源には国庫負担金県支出金などに加え町の一般会計繰入金や国保税が充てられるが、無職の人や高齢者の加入割合が高いため財政基盤が弱い弱であるという構造的問題を抱えている。昨年度の町の一人当たりの医療費は38万1千円でここ数年上昇している。国保税の引き下

げには特定健康審査や特定保健指導の実施率を高め、疾病予防や重症化予防に取り組み医療費を抑制する事が重要である。税率は令和3年度が見直しの年となり3年先の医療費の支出を見据え、国保特別会計の収入と支出のバランスが図られるよう検討する。

問 一般会計からの繰入金を1億5千万円法定内で繰入しているが、その他一部資金の投入は出来ないか。

町民生活課長 昨年度は一般会計から法定外繰入を行う赤字市町村及び都道府県に対し、赤字解消の目標などを掲げた計画を策定するよう要請し、着実な法定外繰入の解消を促した。本町ではルールに従った収入により健全な国保財政運営に努める。

問 健康保険に関する講演や講座の実施予定は。

町民生活課長 保険に関する情報はホームページや広報により、時期に応じて周知を行っている。情報が必要であれば機会を通じて知らせて行く。



秋山 稔 議員

問 障がい者のトイレ 不安解消をどう行う

答 障がい者の不安軽減 に向け対応する

問 「障害者プラン2018」の調査では避難所のトイレについて不安を感じると49・8%の回答結果である。その不安を解消するには。

防災交通課長 避難先としてバリアフリー・多目的トイレが備わった避難所を開設し、障害者や家族の不安軽減に向け対応する。

問 高齢者・車イスなどの方々は和式のトイレ使用は困難である。特に要支援者を優先的に考える必要があると思うが。

防災交通課長 学校体育館等の避難場所を開設。福祉避難所の開設も検討していきたい。

問 災害時にはトイレの緊急性が求められる。町の備蓄数では不十分である。備蓄する最大数は。

防災交通課長 総数は町が1箱20枚入りの携帯トイレ94箱1,880枚、区が1,880箱37,600枚、合計1,974箱39,480枚である。十分な備蓄数とは言えないので、今後も携帯トイレを備蓄していく。

問 各家庭でも携帯用トイレを準備する事も大切です。広報等で周知を図る必要があると思うが。

防災交通課長 食料品と同様に、各家庭でも備蓄するよう呼び掛けていく。

問 町では仮設トイレ事業者・処理事業者と災害時の協定を結ぶ必要があると思うが。
防災交通課長 トイレの確保は大変重要である。仮設トイレの確保に向け協定が締結できよう打診して参りたい。

災害時の移動手段・避難経路について

問 災害時の障がい児・障がい者・高齢者などの移動手段は。防災交通課長 登録者名簿を毎年度、各区長や民生委員などに配布し、平常時から避難について確認するなど、災害に備えている。

問 特養ホームには居住者がいる。外部から避難者を受け入れる事ができるのか。
防災交通課長 福寿荘・町地区3者において近隣防災協定を締結している。災害時に

は協力をお願いしていきたい。
問 十谷・平林・穂積地区は通行止めになる事がある。高齢者が避難するには大変である。夜間となるとなおさらである。対策を講じる必要があるが。
防災交通課長 一人暮らし高

齢者の避難所への移動手段は自助や近助・共助で対応していただくことになる。状況に応じて消防署や消防団に対応をお願いしている。町では高齢者が余裕を持って避難行動がとれるよう、早めに避難情報を発令するよう努める。



町民会館の男性用トイレ

問 峡南医療センターの支援について

答 本町は全面的に支援していく



成田 守議員

問 町はどのように支援していくのか。

町長 峡南医療センター企業団は、設立以来、2病院2介護老人施設が一体となり、急性期から回復期、在宅医療・介護に至るまで、地域全体で切れ目のない必要な医療と介護を提供することを基本方針に掲げ、地域医療と介護サービスを提供しているところである。

これまでと同様に峡南地域医療・介護の拠点として、医療はもとより介護サービスも含め、地域住民に期待されるサービスを提供出来るよう、町としても必要な人的、財政的支援を行って参りたいと考えている。

問 町長の言われるとおり、すべてのことについて、本町は全面的に峡南医療センターの支援をしていくという理解でよろしいか。

町長 峡南医療センターについては、当然、この地域、北部地域の核となる医療介護機関であるので、今、富士川町と市川三郷町で半分ずつ、フ

イフティーファイフティーの支援をしており、これは人的・財政的、ちょうど2分の1ずつの支援で、医療センターとも常に会合を開いている。昨年からは順調な運営に入っているが、今期も非常に良好だという話が続けている。こういう中で、来年度どの程度、両町からの人的支援、あるいは財政的支援が必要なのか、今しばらく今年度の様子を見てから、また、詳細について話し合いが行われると思っている。しっかりと支援していきたいという思いである。



峡南地域の医療と介護の核として期待される峡南医療センター



青柳光仁議員

問▶ 防災時の職員対応は

答▶ 全職員が各グループ 25名で対応

問 台風19号で、7か所の避難所へ196人が避難した。職員の派遣と対応は。

答 防災交通課長 全職員で配備態勢を整え、中山間地域は自主防災職員を配置した。

問 避難所ではどんな備蓄品を配布したのか。

答 防災交通課長 食料や毛布といった物品の持参者が少なかったのでアルファームの提供や毛布を貸与した。避難の際は持参するよう、広報誌を通じて周知していく。

問 町の備蓄は3か所である。毛布や食料が不足した場合の山間地への配布手段は。

答 防災交通課長 各地域で備蓄していただく。町として配布する予定は無い。

問 平林地区で一部炊き出しを行ったが、備蓄食料がなくなったと聞いたがその対応は。

答 町長 区長さんの自家所有米をすべて使ったとの連絡で、町の消防本部車を緊急車両として届けた。

問 土砂崩れで完全な交通止めの際の支援は。

答 町長 各区で災害対応マニュアルを作っていた。個人、各地域や近所、区で対応していただきたい。

学校の防災防犯対策について

問 マニュアルの作成は。教育総務課長 各種作成し全

問 教職員で共有している。保護者や地域との連携は。

答 教育総務課長 保護者への一斉メールによる緊急連絡や保育所、幼稚園、学校の合同引き渡し訓練を実施した。

学校の長寿命化計画について

問 計画は完成したのか。

新庁舎建設について

問 教育総務課長 本年6月に策定業務を委託契約し、今年度未までに計画を策定する。

問 新庁舎へ統合後の保健福祉支援センターの活用策は。管財課長 福祉保健課が移転後も、保健センター機能は存続する。

問 教育文化会館の利活用は。管財課長 個別で検討するが、現段階で計画は無い。

問 町民開放会議室の利用可能日や時間は。管財課長 施設の安全管理や執務エリアのセキュリティなど精査し、運用要綱について検討する。

問 地下書庫について、経費節減のため耐震化してある議会棟、保健センターなどを書庫とする考えは。管財課長 リスクを考え、本

庁舎の外へ書庫設置は考えない。



災害備蓄庫の水防倉庫（道の駅）

問 新庁舎関連の 公募町民が少ないが

答 意見を交わすのに 適正な人数である



笹本 壽彦 議員

新庁舎関連の 委員会について

問 新庁舎建設関連委員会での委員人数の根拠は。

管財課長 設置要綱を定め、意見が出しやすい適正な人数として設定している。

問 新庁舎関連委員会委員には各種団体代表者が、町の他の委員会委員と掛け持ちしているが、これでは偏りが生じ、広く町民の意見を求めていることにならないのでは。

管財課長 役場を利用する各種団体代表者などと定めて、幅広い町民の意見を伺っている。

問 公募町民が2名とか4名では少なすぎるのでは。

管財課長 要綱を定めており、意見を交わすのに適正な人数とした。

問 12月4日と7日に開催された町民説明会では、専門的な意見が出されたが、管財課長 これまでの検討委員会は専門的な意見交換が目的ではない。今回の専門的な意見は設計者とともに検討する。

問 検討結果が報告された後に、何を基準に採用、不採用を誰が決めるのか。

管財課長 設計者と管財課で協議して判断している。また職員の新庁舎検討作業部会でも判断しながら設計に反映している。

問 平成28年2月の第1回検討委員会と第5回委員会での「町民アンケート」の提案があった。3年以上も前の町民アンケート実施提言を、なぜ未だに行っていないのか。

管財課長 手法を検討する中で、広く町民に対し、パブリックコメントを実施した。

★ 検索してみてください ★

1. 富士川町
- ↓
2. 富士川町ホームページ
- ↓
3. 広報関係
- ↓
4. 情報公開
- ↓
5. 会議録の公表

◆ 新庁舎整備基本計画検討委員会など ◆

問 平成28年第3回委員会では、委員長が「町道を付け替えれば十分な用地を確保できる」と発言したが、会議録では他の委員からの意見は無い。これは委員長からの誘導ではないか。

管財課長 検討委員会での委員の意見であり、町で誘導したことはない。

問 その際に議会代表の3人の議員は、何も意見を述べなかったのか。

管財課長 会議録の通りである。

問 集中書庫を地下につくることは、誰が言い出したのか。

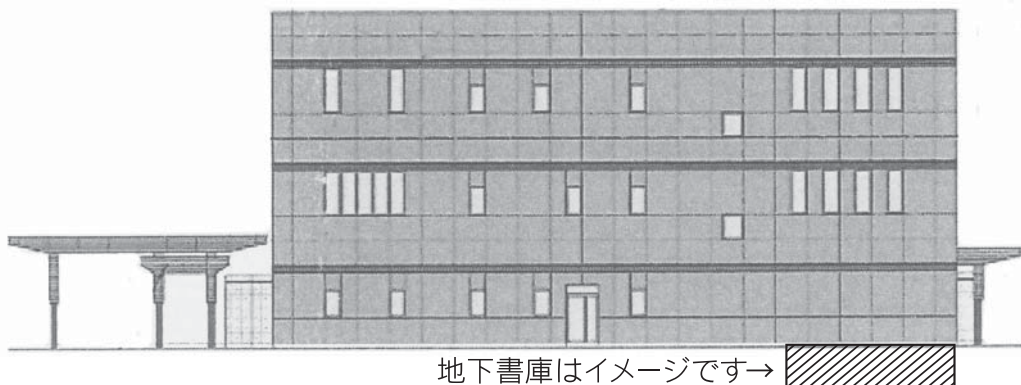
管財課長 町から地下設置が可能か設計者に相談した。

問 地下設置には多くのリスクが考えられるが。

管財課長 ゲリラ豪雨などの懸念があるが、しっかり対応していく。

問 福祉保健課や上下水道課など技術系職員も全て新庁舎に移る計画か。

管財課長 嘱託職員も含め全員である。



地下書庫はイメージです→



堀内春美 議員

問 新庁舎は南側に 十分建設可能である

答 必要な面積を含め 3案を提案した

問 懇話会の委員から出た現役場の南側に建設をという案はどうなったのか。

管財課長 建物位置については、現庁舎東側に建てる3案について、想定される項目を総合的に比較、検討した結果、現庁舎東側敷地を建設位置とした。

問 現在の役場をそのまま使って、その南側へ建てるという案なのに、実際出てきた案は、現役場まで潰して建てるという設計になって出てきている。懇話会で出した意見と違うが。

管財課長 3案については、必要な面積を含めて建てられる案として提案した。

問 懇話会は何のために設置したのか、委員の意見は全然反映されていない。町民代表を4名選出して、町民からも意見を聞いたが、騙された感じである。現庁舎南側に東西に建設すれば、2軒の民家買収がなくなり、1日1048件も利用している役場東の道路も廃止しなくて済む。建設費用も削減できる。財政難なのになぜ高額の建物なのか。

管財課長 費用が掛からない設計を組んで、後年度以降に借金も負担が掛からない設計を考えている。



町の提案する設計では廃止される役場東町道

問 年間4600万円も支払わなければならない。この状況が、町民に負担を掛けないという設計なのか。また、民家は先祖代々の土地を売った

くないとはつきり言っている。買収に応じても応じなくても町民からはいろいろな言われるのは明白。当家では、「住民投票の結果を基に最終判断する。住民投票の実施なくしては、先祖代々の土地を売ることはできない」と言っている。

町長 民地を設計上の事業地に含めることについて了承をいただき事業を進めているが、土地所有者の真意を確認する中で検討していく。

親水公園について

問 前回水没した土砂撤去費用と今回の費用の違いは。

都市整備課長 土砂撤去量が前回より1.5倍増加したためである。

問 前回の土砂撤去量は470㎡しか変わらないのに、費用が約2倍というのは。

都市整備課長 撤去量の増加と、7年前の工事費用に比べ現在の工事単価が上がったためである。



小林有紀子議員

問 防災リーダーの組織づくりは

答 明年度から町の養成講座で育成

問 避難所ごとの「避難所運営マニュアル」の整備状況は。防災交通課長 把握していないが「地区防災計画」に盛り込むよう説明している。

問 地域住民が参加する「避難所運営の訓練」の実施は。防災交通課長 今後、地域の防災訓練で行うよう呼びかけると共に、町の総合訓練でも住民が参加できるように計画する。

問 地域の防災リーダーによる組織づくりは。防災交通課長 明年度から防災リーダー養成講座を開催し、組織づくりを行っていききたい。

問 シェイクアウト訓練やマイ・タイムラインを活用した防災訓練の実施は。防災交通課長 広報誌やホームページでの周知が整い次第、実施していく。

三筋の観光振興は

問 明年の中部横断自動車道の全線開通を見据えた観光振興の取り組みは。産業振興課長 現在「誇れるもの・何これなもの」募集で

選定した作品と三筋の自然散策や交流体験などの観光資源を紹介した「散策マップ」の作成を進めている。

問 町の活性化のため、三筋の連携が必要。明年度、先進地の視察を検討している。町長 十谷の大型観光バス駐車場

場建設に合わせた周辺整備は。産業振興課長 大柳川溪谷までの案内看板は、町で順次追加及び変更していく。



旧町名の看板の早急な書き替えを

問 町の情報発信の状況は。産業振興課長 明年、マスコットキャラクターの発表や観光大使の委嘱を行い、県内外に向けて観光情報を発信していく。

問 県のホームページへの働きかけは。産業振興課長 要望していく。

高齢者ドライバーへの支援は

問 高齢者が安全運転を継続出来るよう富士河口湖町で実施しているような「高齢者ドライバー支援事業」の実施は。防災交通課長 「あいおいニッセイ同和損害保険(株)」と締結した「地方創生連携協定」の中で、高齢者のための「安全運転セミナー」や「交通安全教室」を活用した高齢者の運転支援を行って参りたい。

問 ペタルの踏み間違いによる事故防止のため「安全運転支援装置」の設置促進への補助は。町長 国と県の動向を見ながら、支援制度を創設していく。

令和元年

第4回臨時会

令和元年第4回臨時会を10月30日に開催し専決処分案2件、財産処分案1件、補正予算案1件、契約締結案1件を承認・可決した。

台風19号の被害を受け 早急に対応

富士川親水公園 災害復旧で討論

◆ 反対討論・堀内春美議員

最近の台風は水害が多くなり、他県での被害も深刻である。国や県から補助がきても毎年復旧しなければならぬ状況も考えられる。また、ターゲットバードゴルフ部の会員の方々からは、使用しないので要らないという意見も届いている。税金を富士川に流しているのと同じと考え、反対。

◆ 賛成討論・長澤 健議員

親水公園は、国交省と町が一体となって東部開発を含め富士川護岸を守るために整備された公園であり、町民が活用する施設、町を水害から守る重要な施設であるため、復旧に賛成。

◆ 採決結果

賛成

長澤 健・鮫田 洋平
青柳 光仁・深澤 公雄
小林有紀子・成田 守
秋山 稔・井上 和男
笹本 壽彦・樋口 正訓
秋山 仁
堀内 春美

反対

令和元年

第5回臨時会

令和元年第5回臨時会を12月23日に開催し条例改正案2件、補正予算案5件、契約締結案1件を可決した。

■ 人事院および山梨県人事委員会勧告に鑑み職員、特別職の給与条例の改正、補正予算を行った。

■ リニア高下工事用道路整備工事(2工区)請負契約の締結

■ 契約金額 2億4420万円

■ 一般競争入札 97・71%

■ 契約の相手 井上建設・神田建設
■ リニア高下工事用道路整備工事(2工区)共同企業体

組合議会報告

峡南医療センター企業団

11月27日、峡南医療センター企業団議会臨時会が開催され、審議された案件3件を、原案のとおり可決した。

■ 峡南医療センター企業団企業長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正

企業団職員の期末手当を0・1月引き上げるとともに、平準化を行う。

■ 峡南医療センター企業団会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定

地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴い、会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関し、必要な事項を定める。

■ 令和元年度峡南医療センター企業団会計補正予算

・収益的支出の補正

病院事業費用を800万5千円増額、介護老人保健施設事業費用を196万円増額。

・資本的収入及び支出の補正

病院事業資本的収入及び病院事業資本的支出をそれぞれ6869万円増額。

・企業債の補正

医療機器等整備事業の企業債限度額を1億6020万円に改め、病院整備事業の企業債限度額を740万円に改める。

・重要な資産の取得の補正

市川三郷病院に超音波診断装置一式の追加、富士川病院にデジタルX線テレビシステム一式の追加。

三郡衛生組合

11月11日、三郡衛生組合議会定例会が開催され、30年度各事業の決算認定ほか15案件が原案のとおり可決した。

し尿処理では、人口減少や公共下水の整備などにより、富士川町の投入量は対前年約3%減少している。火葬事業では、建設資金12億2800万円の分割返済金を、約6166万円返済し、平成30年度で完済した。

高齢化による火葬件数の増加や設備修繕経費の増加が見込まれ、令和2年4月から、火葬費は組合市町住民(管内)1万円から2万円に、管外は5万円から6万円の引き上げを承認した。

なお、1人当たり火葬に係る経費は約11万円である。

平成30年度 三郡衛生組合負担金

種 目	町 負 担 額
一般会計	3,538,764円
し尿処理事業	40,680,079円
火葬事業	18,563,042円
合 計	62,781,885円

※均等割30%、人口割70%

住んでみてどうでえ?

- ① 富士川町に住むことになったきっかけは
- ② 富士川町に住んでいる期間は
- ③ 富士川町の住み心地は
- ④ その他

富士川町へようこそ

巻米区 杉 茂・智津さん 会社員

- ① 地元関西で就職したのですが、山梨へ赴任となりました。結婚を機に、会社に近く、妻が自転車で買い物や役場に行ける、青柳町5丁目に住むことにしました。
- ② 一度、転勤で京都に戻りましたが、再び転勤となり青柳町5丁目に戻り、9年前に巻米に移住し、19年目になります。
- ③ 自分たちが育った京都や大阪より、かなり自然豊かで気に入っています。鹿や熊が近くに出たり、お肉のお裾分けをいただいたり、生まれて初めての経験でした。

街灯が少なく、夜道の暗さになかなか慣れませんでした。逆に、星座以外の星や流星は非常にきれいに見え、素敵な環境だと思います。

転勤後に家を持ったのも富士川町ですが、理由は人の暖かさだと思います。子育ては、当初は子どもを預かってもらえる人も制度もなく、困り果てることもありましたが、住んでいる方々の親切

『大きな図書館』の施設を希望

に助けられ、今では預かってあげる側になっています。子育て制度も充実し、子育てにはいいところだと思います。



- ④ 2人の子どもを通して、PTAや地域の付き合いも、ますます増えています。1つお願うとしたら、富士川町には大きな図書館がなく、遠くに足を運んでいるので、充実してほしいです。

青柳町区 渡邊 理・桐子さん 会社員

- ① 父親が富士川町に土地を所有していたので、結婚を機に家を建て、移住しました。
- ② 2016年2月に市川三郷町から移住し、もうすぐ4年になります。
- ③ 買い物の便が良く郵便局や金融機関なども近くにあるので生活やすく、住みやすいです。独身時代は富士川町の「あいおいニッセイ同和損保の代理店」に勤務しておりまして、商工会青年部や青年会議所で活動していたので仲間や友人がいます。

妻は2018年12月に産みました。助産師さんや保健師さんの子育て支援を活用し、助かっています。また、児童センターもよく利用し、同じ年頃の子どもたちと仲間作りをしています。

- ④ 現在は甲府市の、あいおいニッセイ同和損保に勤務しております。損害保険、生命保険などを販売しており、富士川町や近隣の地域に多数のお客様がいらっしゃいます。これからも富士川町のお客様のお役にたてるように頑張り、安心していた

美しいアルパの音色をお届けします

だきたいと思います。

妻は弦楽器アルパ(パラグアイのハープ)をたしなんでいて、まずほ文化ホールで開催している音楽祭にも出場しています。多くの方々にもっとアルパの音色を知っていただけるようこれからも子育てを楽しみつつ演奏活動をして行きたいです。



演奏依頼受付中♪

広報常任委員会

委員長 堀内 春美 副委員長 井上 和男 委員 鮫田 洋平・秋山 稔・笹本 壽彦・秋山 仁